

活力素材・商材 特集(12~14面) 12面

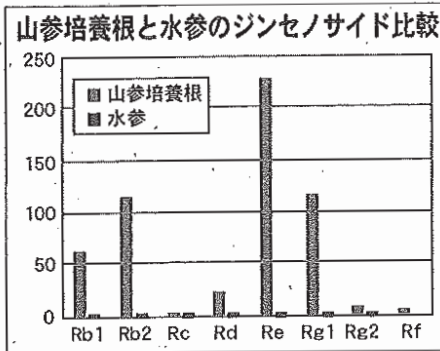
山参(さんさむ)培養根

機能性とストーリー性で大きく動くか

今年に入り男性機能改善市場に本格投入された新規素材。㈱オムニ方が供給しているもので、「百歳山参(ひゃくさいさんさむ)」の名称で市場開拓されている。ED改善作用が確認されているのと同時に、素材背景を情緒豊かに語れることが大きな魅力。来年に掛けて大きく動きそうだ。

山参培養根製品によるED改善作用のエビデンスを見てみる。143名のED患者を対象にした二重盲検臨床試験が行われている。効果指標

のはなぜか。考えられているのは、含有する有効成分サポニンの種類の違い。HPLCクロマトグラムでそれぞれを比較すると、同素材の方が種類と量が豊富だ(Ⅱ図)。例えばジンセノサイドReは500倍以上



という報告がある。

また、同素材のHPLCクロマトチャートは天種山参のそれとほぼ一致する。天種山参とは、韓国で「百薬の王」などとして珍重されてきた野生の天然山参。長いものだと100年以上生きたといわれるが、繁殖力が低いこともあり見つけるのは困難。そのため、取引額は1億円を超える場合もあるという。

このように稀少な天種山参を市場流通させようと、韓国のバイオ企業とオムニ方が共同開発したのが「百歳山参」。100年モノ天種山参と確認された山参の根部を培養し粉末化したものだ。

また、抗酸化能も強い。活性酸素除去作用があるグルタチオンペルオキシターゼの活性作用について、同素材は高麗人参の150倍以上の活性があることが報告されている。高麗人参とのこうした違いが出る